



広徳寺通信

76号

喜心は、どんなこともさいわいにと受けとめて参りますということ
老心は、すべての上に老婆心、親心を運んで参りましょうということ
大心は、すべてを受け入れ、包んでいく海のような、山のような心で参りましょうということ

(青山俊董『道元禅師に学ぶ人生
典座教訓をよむ』)

*

発行元 曹洞宗慈眼山広徳寺
平成三十年十二月一日発行



▶ 寺院巡りで訪れた秋田県の万松寺様にて。



▶ 今年最後のお寺参り。成道会では、多くの方にお参り頂きました。お斎(とき)は赤い広徳寺弁当箱に。



三つの心

喜心は、どんなこともさいわいにと受けとめて参りますということ

老心は、すべての上に老婆心、親心を運んで参りましょうということ

大心は、すべてを受け入れ、包んでいく海のような、山のような心で参りましょうということ

本堂裏の池に生える草を刈る仕事をいたしました。



三つの心の一番に、「どんなこともさいわいにと受けとめて参ります」と言いながら、やはり、つらいこと、嫌なことはしたくないと思う私たちです。やらなくてはならぬと思いつつ、裏庭の池に生えわたる長い草を刈ることをしぶつておりました。結局は、住職も鎌を持ち刈り取りました。これはいいからやりたい、これはつらいからやりたくない、より好みの心をお釈迦様は戒めています。

局は、住職も鎌を持ち刈り取りました。これはいいからやりたい、これ

午後一時より秋彼岸会法要が執り行われました。本堂でのご先祖供養終わって、森洋子さんらチエンバリズム!の方々による演奏が行われました。素敵な午後でしたよ。来年も、秋彼岸は楽しい催しをしたいと考えています。

九月二十八・二十九日（金土）
「寺院めぐりの旅」に北東北に行つてまいりました。役員さんを中心に関門建築を視察し、懇親を深めました。

十月二十日（土）
「尚魂塾」の子どもたちが、今年もお寺で坐禅を修行したあと、大広間で空手の練習。自身と向き合う時間を過ごしました。最後に、保護者の方が作ってくれたカレーを食べて充実した一日となりました。

十一月十八日（日）
秋のお寺参り「成道会」が午後一時より修行されました。成道会はお釈迦様のおさとりをたためる法要。終わってご先祖供養も行われ、約三十名の和尚さん方にお勤めいただきました。最後のお説教では、安平町の守屋敬道老師に「供養の仕方」についてのわかりやすいお話をいたしました。

お寺のでき」と



▶ 帯をぎゅっとしめた空手の子どもたちが坐禅に挑戦しました！



▶ ペット供養合同慰靈祭の様子。ちょうど秋の気持ちの良い季節でした。



▶ 本堂で聴く弦楽器の演奏。仏教伽藍と西洋音楽の取り合わせが面白く。

だきました。



お寺の庭から 「犬との別れ」

犬というのは人間以上に人間らしい生き物だ。そう感じさせるような犬でした。

大きな犬で、遠出から帰つて来た時には、後ろ足で立ち上がって前足で私の上半身を押し倒し、喜んで玄関で迎えて来れたこともあります。

立ち上がる私の背丈ほどもあり、力は私の倍以上もありました。

よくいいらしたり、怒っている私を見ると、そつと近づき、「怒るなよ」

とでもいうように、お尻を私の足にすり寄せて、じつと私の目を見てくれました。



家族が喜びで笑いあつてゐる時には、口元をゆるめ声にならずとも一緒に笑い、家族に元気がない時には、じつと座りこちらを見ててくれる。そういう優しい犬でした。

今年に入つて「なにか年をとつたな」、と思つてから動けなくなるまではあつという間でした。いのちはこんなに簡単に運ばれていくものなのでしょうか。

住職が手作りしたベッドでの病床では、ひとつひとつの息が大仕事のようで大変そうで、でも大変それでも、「ロンちゃん、ありがとう。ありがとう」

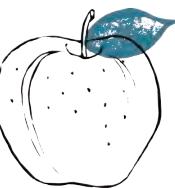
と撫でてやると、少し気持ち良さそうな目をしてくれました。いつも家族を思いやるその気持ちは、私以上に人間らしいなと恥ずかしくなる。

いま頃は、母犬といつしょにどこか野原を走り回つているのでしょうか。

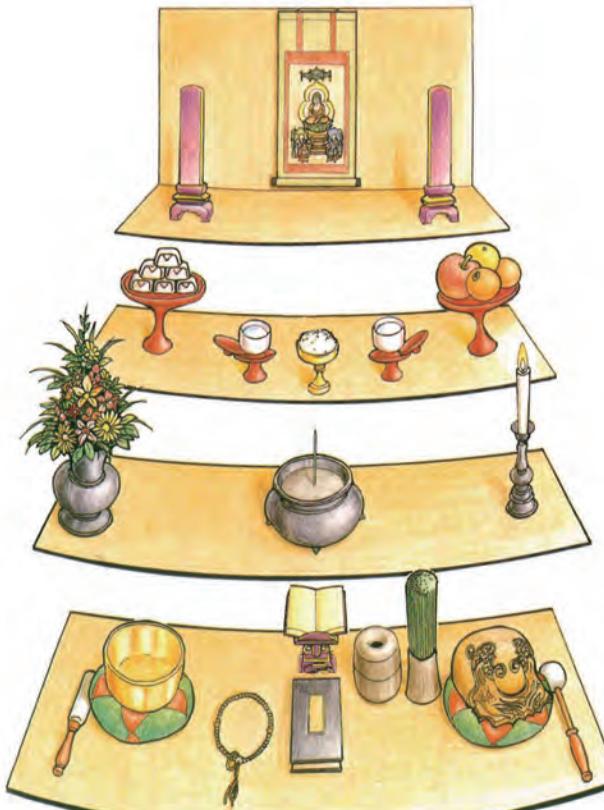
(広徳寺副住職 高橋正英)



仏壇に仏具やお供え物の置き方はありますか？



曹洞宗の仏壇のまつり方



※図の他に積み団子も対でお供えします。

上のイラストのように、本尊様を一番奥の中央に安置し、その直線上に過去帳・お水・お靈供膳・線香立てを置くのが一般的です。積み団子やお位牌など対となるものは左右対称に、一つしかないものは中央に本尊様とあなたが一直線になるように置きます。ロウソク立て、花立て、左に花立てを置きます。木魚は右、リンは左に置きます。仏壇の大きさやお位牌の数などでまた変わってきますので、不安であればお寺にお尋ねください。

テラピス

要予約

冬の広徳寺の行持

—坐禅・写経の個人申し込み受け付けています。

お寺でかんたん体操。普段おろそかにしがちな筋肉を刺激する体操です。あまり、無理な姿勢はとらないので、ご心配なく。いつもとは異なる本堂の空気を味わつてください。

初めての方も
ご安心ください！

12月
1日
12月
15日

○ 時間…一時間

講師 / 水戸麻衣子 先生



梅花流詠讃歌

托鉢でお布施するには

御詠歌は心の安らぎです。御詠歌と一緒に唱えませんか。土曜日午後一時半から。詳しくはお寺まで。☎ 73-2032

歳末助け合い 托鉢のお知らせ

12月15日（土）午後二時より、

曹洞宗の函館近辺の青年会主催で托鉢を行います。詳細は別紙にてご案内させていただきます。

- ① 托鉢している和尚さんの持つている鉢にお布施を入れます。歩いている最中でも大丈夫です。お布施するのはお金であることが多いです。包まなくてもかまいません。
- ② 布施された和尚さんは短いお経を読み、法のお布施をいたしますので合掌してお受けください。

夜の会

午後六時半

○ 参加費…千円

○ 時間…一時間